



## テュートリアル課題 息が苦しい

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	テュートリアル課題
巻	2009
号	B2
発行年	2009-12-04
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/30199">http://hdl.handle.net/10470/30199</a>

2009 年度            Block. 2

課 題            No. 5

課題名：息が苦しい

無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください



## 課題シート

2009-B2-T2-5

息が苦しい

### シート1

山野聡子さんは研修医である。外来にて診察依頼があり、指導医と一緒に外来へ駆けつけた。  
患者さんは藤木 健殿、68歳男性。最近、夜間息が苦しく、眠れない。時々胸が締めつけられ事もある。また、最近、靴がはきにくなり、体重が増えてきたように思う。どこか悪いのか心配になって来院した。  
聡子さんは何かチェックすべき項目がないかどうか思い巡らした。

課題シート

2009-B2-T2-5

シート2

息が苦しい

指導医である宇田先生と一緒に胸の診察をしようと考えた山野さんは胸の聴診を行った。前胸部に心雑音を聴取し、呼吸音も正常ではない気がした。

## 課題シート

2009-B2-T2-5

シート3

息が苦しい

宇田先生は次のように説明した。

「藤木さんの今回の症状は、心臓に多くの負荷がかかり、ポンプがうまく働かなくなった状態によるものです。そのため、全身のホルモンや神経調節がうまくいかなくなり、全身に水がたまっているのです。長年の間に、心臓の機能の代償がうまくいかなかったのです・・・。」

## 課題シート

2009-B2-T2-5

息が苦しい

### シート4

宇田先生は来院時の胸部エックス線写真、心電図を見ながら、「心臓の動きを見ましょう。」と言い、心臓超音波検査で心臓の動きを藤木さんに見せた。

聡子さんは全体に心臓が大きく、左心室の壁が厚くなっていて、壁の動きが全体に悪いように思えた。

また宇田先生は「大動脈弁が随分厚くなって、石灰化が見られますね。」と説明した。

聡子さんは、大動脈弁はどうして厚くなって石灰化するのだろうと思った。

## 課題シート

2009-B2-T2-5

シート5

息が苦しい

藤木 健さんは、平成21年6月2日に“大動脈弁狭窄症による心不全”の診断で入院した。  
入院加療の後、宇田先生は「薬物療法も重要ですが、弁の手術が必要です。」と説明を行った。